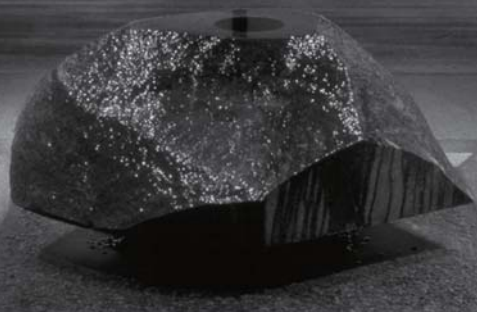


モエレ・ファン・クラブ設立10周年記念事業

彫刻「オンファロス」の寄付をお祝いする会 安齊重男 記念トークショー



omphalos

モエレ・ファン・クラブは、今年で設立10周年を迎えました。この節目に合わせるように、イサム・ノグチの彫刻「オンファロス」がモエレ沼公園に寄付されることになりました。私たちはこのことを心より喜び、来る11月17日のイサム・ノグチ109歳の誕生日に、彫刻「オンファロス」の寄付をお祝いする会を開催します。また、その特別企画としてイサム・ノグチをはじめ国内外の多くのアーティストの動向を記録しつつづけているアートドキュメンタリストの安齊重男さんをお招きし、安齊さんの写真スライドを見ながらイサムさんの思い出を語っていただく「イサム・ノグチの彫刻と二晩寝た男」と題した記念トークショーも開催いたします。

2013 11/17 日 15:00-16:30

会場：モエレ沼公園「ガラスのピラミッド」アトリウム1階、スペース1

入場
無料

申込
不要

15:00-15:30 彫刻「オンファロス」の寄付をお祝いする会 —パーカッションist加藤訓子氏による記念演奏あり—
15:30-16:30 安齊重男 記念トークショー「イサム・ノグチの彫刻と二晩寝た男」

オンファロスとは

彫刻家 イサム・ノグチは、昭和 63(1988)年 3月に初めて札幌を訪れ、モエレ沼公園と「ブラック・スライド・マントラ」という傑作を札幌に遺して亡くなりましたが、その同じ年に、札幌テクノパークのベンチャー企業(株)ビー・ユー・ジー社の新社屋に、石の彫刻「オンファロス」をプレゼントしました。ギリシア語で世界の中心をも意味する「オンファロス」は、社員が集うフロアの中心に設置され、25年間に亘り同社の発展を見守ってきました。

このたび持ち主である服部裕之氏のご意志により、モエレ沼公園「ガラスのピラミッド」に寄付されることとなったのです。

安齊 重男 (アートドキュメンタリスト)

1939年神奈川県生まれ。独学で現代美術作家として出発し、1969年より国内外を問わず同時代の美術展や美術作品の写真によるドキュメントをはじめ。1978-79年にロックフェラー財団の奨学金を得てニューヨークの現代美術シーンを中心に記録する。1985年、美術雑誌『ARTFORUM』の依頼で、「イサム・ノグチ彫刻庭園」(ニューヨーク)のフォト・エッセイを制作したことを機に、以後イサム・ノグチの多くのプロジェクトを記録した。イサム・ノグチ関連の図書：『イサム・ノグチ—あかりと石の空間』(リプロポート、1985)、『The Isamu Noguchi Garden Museum』(Harry N. Abrams 出版、1987)、写真集『現代日本の野外彫刻』(講談社、1991)、『ANZAI-Homage to ISAMU NOGUCHI』(Imex Inc.,1992)ほか多数。個展：「安齊重男写真展—ヴェネチアのイサム・ノグチ」(ZEIT-FOTO SALON、東京、1986)、「ANZAI-Homage to ISAMU NOGUCHI」(ギャラリー・ところ、1992、東京)、「安齊重男の眼 1970-1999」(国立国際美術館、大阪、2000)、「安齊重男の”私・写・録” 1970-2006」(国立新美術館、東京、2007)ほか多数。